

## 第10回技術研修会開催中

### 平成15年度 ITスペシャリスト研修 研修コースを大幅に拡充し好評開催中!

研修委員会では、会員企業の従業員の技術力アップを目的として技術研修会を過去9回開催しており、いずれの研修会も好評を得ています。

本年度も、昨年度に引き続き大分県の支援のもとに、当協会と(財)大分県産業創造機構殿とが連携し、県のIT振興事業の一環として、会員企業だけでなく、県下情報処理関連企業を対象に技術研修会を実施しています。

研修コースは、県の支援のもとに実施する「ITスペシャリスト研修」とOISA単独で実施する研修からなり、その講座内容は、別表「平成15年度 ITスペシャリスト研修実施要領(抜粋)」に示す内容となっています。

本年度は、特に県内で手軽に最新IT技術研修を受講する機会を多くの皆様に提供できるようにと、研修コースを大幅に拡充し、募集定員を約2倍に増やしたところ、会員企業21社、非会員企業5社から合計458人の参加を得ました。

研修コースは、昨年度に引き続き実施のJava, XML, Linuxの研修に加え、データベース研修やネットワーク・セキュリティ研修の新設、さらには従業員の皆様の総合的な能力向上を目的とした「SEのためのプレゼンテーション研修」を新設し好評を得ています。

また、XML講座については会員企業から講師を迎え、研修場所も大分県産業創造機構研修室および豊の国ネットワークラーニングセンターを利用するなど、技術力向上もさることながら、地元での交流を深めることができるような研修会となっています。

#### 受講生研修アンケート (H15.11.20現在)

		Java	XML
1. 事前の知識	経験あり	15%	65%
	少し知っている	35%	15%
	よく知らない	50%	20%
2. 理解度	よくわかった	47%	37%
	大体わかった	43%	61%
	よくわからなかった	9%	3%
3. テキスト	適切	64%	70%
	普通	29%	30%
	不適切	7%	0%
4. 日程	適切	69%	67%
	長い	23%	8%
	短い	8%	25%
5. 講習スピード	適切	69%	67%
	速い・長い・難しい	31%	19%
	遅い・短い・物足りない	0%	15%
6. 今後の業務	使える自信がついた	45%	0%
	もう少し勉強すれば使える	55%	100%
	使えそうにない	0%	0%

#### 平成15年度 ITスペシャリスト研修実施要領(抜粋)

財団法人 大分県産業創造機構  
大分県情報サービス産業協会 研修委員会

- 目的  
本事業は、情報産業関連企業のシステムエンジニアを対象に、必要とされる高度な技術研修を実施し、情報産業の活性化を図るとともに、先進的開発手法等について修得することによって、情報産業の競争力を向上させることを目的とする。
- 事業の内容
  - ITスペシャリスト研修事業 ((財)大分県産業創造機構委託事業) 今年度5講座実施
    - プログラミング研修
    - ネットワーク研修
  - 大分県情報サービス産業協会研修事業 今年度1講座実施
    - プレゼンテーション研修
- 研修の内容
  - ITスペシャリスト研修 ((財)大分県産業創造機構委託事業)
    - プログラミング研修
      - Java研修
        - 参加対象: 大分県下の情報産業関連中小・中堅企業の従業員
        - 日時: 10月22日(水)~10月31日(金) 8日間 9:30~17:00
        - 内容: 基礎 Javaの記述方法、基本的な開発方法、XMLによる簡単なWebページの作成 3日間
        - Java応用 Javaの応用的なプログラム作成方法 3日間
        - Javaサーブレット 2日間
      - XML研修
        - 参加対象: 大分県下の情報産業関連中小・中堅企業の従業員
        - 日時: 11月17日(月)~11月20日(木) 4日間 9:30~17:00
        - 内容: 基礎 XMLの記述方法、基本的な開発方法、XMLによる簡単なWebページの作成 2日間
        - 応用 データベースのデータをXMLのデータに変換して利用したアプリケーションの構築 2日間
      - データベース (Oracle) 研修
        - 参加対象: 大分県下の情報産業関連中小・中堅企業の従業員
        - 日時: 12月16日(火)~12月19日(金) 4日間 9:30~17:00
        - 内容: 基礎 データベースの基礎知識 (Oracle 9 i 入門 SQL編) 2日間
        - 応用 データベースシステムのシステム構成  
データベースの作成  
ユーザの登録・管理等データベース管理者に必要な知識 (Oracle 9 i 入門データベース編) 2日間
    - その他: 当研修は、ORACLE MASTER Gold Oracle 9 i Database (新Gold/現Platinum) の取得要件である指定の集合研修★として認定されています。(★ORACLE MASTER Gold取得のために受講しなければならない研修)
    - ネットワーク研修
      - ネットワーク・セキュリティ研修
        - 参加対象: 大分県下の情報産業関連中小・中堅企業の従業員
        - 日時: 2004年1月19日(月)~1月23日(金) 5日間 9:30~17:00
        - 内容: ネットワーク構築 Windows2000によるネットワーク環境の構築 2日間
        - インターネットサーバの構築  
ネットワークセキュリティ ネットワークセキュリティ入門  
セキュリティを考慮したWindows2000 Serverの設定 3日間
      - Linux研修
        - 参加対象: 大分県下の情報産業関連中小・中堅企業の従業員
        - 日時: 2004年1月26日(月)~1月30日(金) 5日間 9:30~17:00
        - 内容: 導入・構築・管理 Linuxシステムの導入、構築、管理 3日間
        - セキュリティ Linuxインターネットサーバの導入とセキュリティ対策 2日間
  - 大分県情報サービス産業協会研修
    - プレゼンテーション研修
      - SEのためのプレゼンテーション研修
        - 参加対象: 大分県情報サービス産業協会 加盟企業の従業員
        - 日時: 12月10日(水)~12月11日(木) 2日間 9:30~17:00

全コースが終了したわけではありませんが、参考までに、終了したコースの受講者のアンケート結果を見ますと「わかりやすくとても充実した研修」等のご意見もいただき、受講者の満足度も高い研修となっています。(受講生研修アンケート参照)

研修委員会としましては、今後もソフトウェア技術の動向をふまえ、ホットな最新のIT研修を提供し、皆様のご希望に添えるような研修を計画・実施する予定です。

より良い技術研修となるようご希望等がありましたら、研修委員会までご連絡いただくと幸いです。

次年度以降も技術研修会へのご参加をお待ちしております。(研修委員会)



## 平成15年度 第1回 OISA 視察研修旅行

～ 本田技研工業(株) 熊本製作所 ～

9月10日朝、「豊後梅」ではないにしろ、大分交通さんの超高級バスに21名のおじさん達が集う。恒例のOISA視察研修旅行である。恒例であるが故に、企画委員会ではネタ探しに苦勞もするなか、今年は節目の年でもあり、「いざ韓国へ」の案もあったが、SARSも心配されたので、おじさん達はいつものように、ソフトパーク・大分駅前から1泊2日のバス旅行に出かけた。

まずは、名(迷?)添乗員さんとしてすっかりお馴染みになった大分交通の上杉次長から「予定」が説明された。今回の目玉は、第1日目の本田技研工業熊本製作所、第2日目の京セラ国分工場の視察研修である。そして、会社にはあくまでついでのこととして言わねばならない観光スポットは、熊本ワインを飲んで昼食～宮本武蔵がこもったとされる霊巖洞～武蔵塚公園～お宿は湯の児温泉、翌日には大島紬の里で昼食をとり一路大分へ、という「予定」であった(後に「予定」には変更がつきものであることがわかる)。

郷司会長もおっしゃっていたように、バスガイドさんの語りも実に興味深いものである。調子や歌声だけのことではない。大げさに言えば、話の内容そのものが、我々

の知的好奇心を掻き立ててくれる。通り過ぎる土地に所縁の歴史話、芸能話、作物の話、名前の由来、どれも興味深い。それに対し、おじさん達も黙っちゃいない。アルコールが入っていきようが、相手がインストラクターレベルのガイドさんであろうが、違うと思えば反論するし、彼女が知らないことはもっともらしく教えてあげる。そんな双方向コミュニケーションで、上手なガイドさんは話のネタが増えていくのであろう。ただし、彼女らが語ることをすべてが正しいかどうか、おじさん達は疑わねばならないかもしれない。

閑話休題。

本田技研工業熊本製作所の見学では、「気さくさ」のようなものが一番印象に残った。総務の方が先導くださり、見学者集団を相手にお決まりの手順で(決して無機的ではない)概説～紹介ビデオ視聴～工場見学～質疑応答。自然環境に配慮され、地域社会との融和を大切にし、働きがいを持った人と技術で二輪車中心の成果物を、

自信を持って世に送り出されている。そんな製作所なんだということがよくわかった。

対応くださった中川総務課チーフは、しつこい質問にも、難解な質問にも誠意を持って、決していい格好しないで答えてくださった。さらに聞けば、以前は製造スタッフ(職工さん)をされていたとのこと。正直「へえー」と思った。気さくという言葉では意を尽くせないのだが、この会社はこのような人が育つ場所なんだと、羨ましくも思った。

我々情報産業に携わる者も、相手はお客様。専門用語を散りばめて煙に巻くのではなく、プレゼンテーションが大事であると、勉強会も企画されているが、お客様相手にもっとも大切なのは、やはり自信に裏付けられた嘘の無い「心」なんだろうなあ、そんな人を育てることを落ち着いて考えておかないといけないなあと思った。

(企画委員会)



研修風景



熊本製作所玄関前にて



武蔵塚公園にて

## JISA理事会、評議員会、九州・沖縄、中国、四国支部会 合同会議開催

平成15年9月24日(水)、大分全日空ホテルオアシスタワー(大分市)にてOISAの上部団体であるJISA(社団法人情報サービス産業協会)の理事会、評議員会、九州・沖縄支部会、中国支部会、四国支部会の合同会議が開催された。

理事会は、年に1回は東京以外の地域で開催することが恒例となっており、今回は当地で評議員会と3支部会を合わせた合同会議が開催された。参加者はOISA会員のオブザーバー参加10数名を含め100名ほどであった。

会議は最初に河野憲裕 JISA副会長・専務理事の開会ご挨拶で始まり、理事会が開催さ

れた。理事会では、新規入会企業の審議やいくつかの報告が行われた。

理事会の後、合同会議に移り佐藤雄二郎 JISA会長のご挨拶があり、次に来賓として広瀬勝貞大分県知事(元経済産業省事務次官)が挨拶された。知事は就任早々にこのような会議を大分で開催していただいたことに大いに歓迎の気持ちを表していた。

続いて、経済産業省商務情報政策局の嶋田隆情報処理振興課長から「ソフトウェア関連施策について」と題した政策の説明があった。

現在政府が推進しているe-japan戦略を拡

大していくためには、産業と学会がより連携を強めていく必要があり、そのための施策として計画中の産学連携ソフトウェア工学実践拠点「ソフトウェアエンジニアリングセンター(SEC)」について詳細に説明された。

休憩後、各支部長からの支部報告、評議員からの報告等がなされた。

OISA会員にとっては、JISA理事会や支部会にオブザーバー参加でき、活発な論議のやりとりを目の当たりにして大いに刺激をうけた。

(事務局)

**「自由、挑戦、喜び」 私たちは未来創造会社です。**

半導体回路開発、評価、解析、製造、テストから  
半導体応用システムの開発まで

株式会社日出ハイテック  
Hiji High-Tech Co.,Ltd.

# 第15回「技術交流会」開催＜共催：大分商工会議所＞

日時：平成15年11月7日 15:00～16:30 場所：大分商工会議所 6階大ホール

恒例行事の技術交流会は、お蔭さまで第15回の節目を迎えることができました。今回は30社85名の参加を仰ぎ、大変活況を呈しました。

講師としてNHK放送文化研究所の菅中雄一郎氏をお招きし、「地上デジタル放送の動向と将来像」というテーマでデジタル放送の現状、技術的な動向、今後の放送開始予定、課題と対策等を専門的な視点を含め平易に講演していただきました。また、講演前後の時間を利用して実際にデジタル放送の画質、新機能、コンテンツ等を体験できるコーナーを併設し、NHK大分支局等の専門家の説明とともにデモを実施しました。

講演の要旨は、以下のとおりです。

- ① 地上デジタル放送で予定されているサービス
  - ・数百チャンネルに及ぶ多チャンネル化
  - ・多大なデータ量を背景に映像・音声の高品質化
  - ・データ放送の受信・双方向番組への参加
  - ・移動体向け放送の受信（携帯電話、車載テレビ等）
 「見るテレビ」から「使うテレビ」への移行が大きな目的となります。
- ② 地上波テレビのデジタル化スケジュール
  - ・2003年東京、名古屋、大阪にて放送開始

- ・2006年より2011年までに順次全国で放送開始  
(大分近隣は2006年放送開始予定)
- ここ数年、実情は試行錯誤の放送となりそうであり、3大都市圏から数年遅れて放送が開始されるのも、必ずしも悪いことではないとの指摘が講師よりありました。

- ③ 地上デジタル放送の受信方法
  - ・UHFアンテナと地上デジタル放送用のテレビあるいはデジタル受信用のチューナーと現行テレビの組み合わせで見ることができます。
- ④ 地上デジタル放送移行の課題
  - ・各テレビ局自己負担のコスト  
(一局あたり平均63億円)
  - ・受像機、すなわち一般家庭用デジタルテレビのコストダウン促進
  - ・コンテンツ・サービスの新しい展開と充実
 ハード、ソフトなど関連する業界にとって、相当大きな市場になりそうです。
- ⑤ デジタル放送の未来像
  - ・携帯テレビ等可動端末向けの内容放送
  - ・放送と通信が融合し、データベースを利用するサーバー型放送
  - ・障害者、高齢者などを対象に必要とされる機能を強化した放送

- ・声、顔等の特徴から識別し、個別ニーズに対応した対話型テレビ
- ・見たい時に見たい番組を選択できる番組リクエスト型サービス

以上、国家施策、戦略を背景に、遠い未来でなくすぐ始まる地上デジタル放送について具体的な話を聴くことができました。放送のデジタル化がもたらす多彩な機能は、ソフトウェア業界にとっても、大きなビジネスチャンスが到来するものと考えられます。なお、最後の質疑応答では、一般の聴講者も含め質問が複数出され、このテーマへの関心の高さ、期待の大きさがうかがえる講演でした。

来年以降も皆様の関心の高いテーマを厳選し、技術交流会を予定しています。これまで以上に多数の方々のご出席をお待ちしています。  
(技術委員会)



## フレッシュさん紹介

今後ともよろしく願いいたします。

### システムエイジ(株)

情報システム技術事業部

福永 将司

趣味：ドライブ、サッカー

好きな言葉：一竿風月



### 三菱商事太陽(株)

統轄室 地域システムグループ

増田 敏也

趣味：パチスロ、マージャン

好きな言葉：明日は明日の風が吹く



### KCS大分情報専門学校

事務部

山野 弥生

趣味：サッカー観戦、映画鑑賞

好きな言葉：あけない朝はない



社会人としてデビューして半年弱が過ぎましたが、学生時代と何が変わったのかよく考えます。責任の重さ？自由な時間の少なさ？もちろんそれもありますが、私は自分自身を見つめる時間が大幅に増えたことだと思っています。今は自分を見つめながら、ゆっくりとではありますが少しずつ前進していきたいと考えています。一竿風月のような生活は送れない毎日ですが、目標とする「周りから信頼される技術者」になれるよう努力を積み重ねていきたいと思えます。

入社以来、私はシステムのプログラミングを主に担当してきました。今では少しずつですが基本設計や維持管理なども担当し、お客様のところに足を運ぶ機会も多くなりました。システムを構築し管理していく難しさと、上司の叱咤激励とで頭を抱えることも少なくありませんが、やりがいのある仕事だと感じています。職場の環境は、障害を抱えていても様々なことを要求してくれるので、今後も積極的にチャレンジしていこうと思っています。

私は、主に来客対応や庶務、広報事務などに携わっています。研修期間を含めると1年が経とうとしていますが、まだまだ勉強不足なところが多く、先輩職員や他の先生方にいろいろと教えていただいている毎日です。

私の仕事のひとつでもある来客対応は、その対応の仕方ひとつで学校のイメージを変えてしまうという大切な役割を担っています。相手の立場に立ち、親切で丁寧な対応ができるように日々努力していきたいと思っています。

MITSUBISHI

三菱電機グループ

Changes for the Better

私たち、三菱電機グループのコーポレートステートメントです。  
“常により良いものを目指して変革していく” 意志を表したものです。

グローバルな視野に立って、  
一人ひとりが変革する決意をもって行動します。

「自由の中にも厳しさを」

一人ひとりの社員がいきいきと、かつ  
責任感を持って行動するように心がけています。



Melhan Computer System co.,ltd.

メルハンコンピュータシステム株式会社

〒870-0921 大分市萩原2丁目2番35号

http://www.melhan.co.jp

営業部・業務部：(097)551-4557代 システム部：(097)551-4551代

